

# 大学史研究通信

第42号、2005年4月30日(土)

大学史研究会

第42号の内容：新入会員・会員ニュース・会員新刊ニュース・第27回研究セミナー報告・2004年度総会報告・2004年度会計報告・2005年度年会費納入のお願い・事務局からのお知らせ・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

## 新入会員

久田 浩 会員

所属： 桜美林大学大学院国際学研究科

住所：

TEL/FAX：

研究テーマ： 大学アドミニストレーション

## 会員ニュース

吉野 剛弘 会員(所属・住所変更)

所属： 東京電機大学

住所：

TEL：

## 会員新刊ニュース

- 1) 望田幸男・広田照幸編『実業世界の教育社会史』昭和堂、2004年  
会員関係の論文は以下の通り。  
福石賢一 第2章「就職委員会と実業界に向かった卒業生たち 一 二〇世紀前半におけるケンブリッジ大学の変容」  
早島瑛 第3章「マールベルク家の人びと 一 近代ドイツにおける商科大学の社会的機能について」  
堀内達夫 第5章「一九世紀フランスのエンジニア養成と実業世界」
- 2) 山内乾史『現代大学教育論 一 学生・授業・実施組織』東信堂、2004年
- 3) 近田政博『近代ベトナム高等教育の政策史』多賀出版、2005年
- 4) 荒井克弘・橋本昭彦編著『高校と大学の接続 一 入試選抜から教育接続へ』玉川大学出版部、2005年

- 5) 有本章『大学教授職とFD —アメリカと日本』東信堂、2005年  
6) 有本章・羽田貴史・山野井敦徳編著『高等教育概論 —大学の基礎を学ぶ』ミネルヴァ書房、2005年

瀧井一博会員が『文明史のなかの明治憲法 —この国のかたちと西洋体験』（講談社、2003年12月）により第4回大佛次郎論壇賞ならびに第2回角川財団学芸賞をダブル受賞されました。

#### 「会員新刊ニュース」情報提供のお願い

この欄では、会員の研究活動の紹介を心がけておりますが、編集者の情報のみでは限界があります。新刊を発行されたご本人、あるいは会員が新刊を発行されたという情報を得られた方は、事務局（代表Eメールアドレス：jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）もしくは本紙編集担当の杉谷までご一報頂ければ幸いです。

#### 大学史研究会第27回研究セミナー報告

大学史研究会第27回研究セミナーは、2004年11月27日（土）・28日（日）、帝京大学八王子キャンパス本館において、26名の参加者を得て開催されました。

大会は一日目午後に課題研究、総会、懇親会、二日目午前自由研究という日程でおこなわれました。

「大学史における公共性」をテーマとした一日目の課題研究では、まず中世、ドイツ、アメリカ、イギリス、日本のそれぞれの立場から、児玉善仁会員「中世大学の示す公共性の問題」、別府昭郎会員「双頭の鷲—ドイツ大学史における公と私」、立川明会員「米国大学史でのカレッジ教育の『公共性』論の断片と現代の二年制カレッジの可能性」、福石賢一「市民大学創設過程におけるヘゲモニーの推移—シェフィールドを事例として」、吉村日出東会員「日本における大学の公と私」の五報告がなされました。その後、全体討議がおこなわれ、各報告で取り扱われた個別の事例に関する問題から現在の日本の大学における公共性の問題に至るまで幅広い論点について議論されました。続いて総会が開かれ、その後、帝京大学パーティールームにおいて懇親会となりました。

二日目午前自由研究では、三会員に以下のテーマでご発表いただきました。(1)荒木康彦会員『五條秀麿』の『ドイツ留学』、(2)松浦正博会員「中世パリ大学の組織化の一断面—托鉢修道会の大学への受け入れと相克をめぐって」、(3)津田純子会員「ドイツにおける大学教育運動と近代大学の理念」。

以上の内容をもって、本年度のセミナーも盛会のうちに無事終了することができました。ご発表・ご参加いただいた会員の皆様には心より御礼申し上げます。また、本セミ

ナーの開催にあたっては、帝京大学の児玉先生に大変お世話になりました。この場をお借りして御礼を述べさせていただきます。

次回、第28回の研究セミナーについては、現在のところ日時・場所ともに未定です。企画をお持ちの方、あるいは場所だけなら提供してもよいとお考えの方は、事務局セミナー担当までご連絡いただければ幸いです。来年度もより多くの会員の皆様にご発表、ご参加いただけることを期待しております。

(事務局セミナー担当 福石賢一)

## 大学史研究会 2004 年度総会報告

2004年11月27日(土)、帝京大学にて実施された大学史研究セミナーにおいて、大学史研究会総会が開催されましたので、会員のみなさまにご報告いたします。

### 1) 2004 年度会計報告

会計担当大川事務局員より、2004年度会計報告があり、その後質疑応答を経て承認されました(本号別ページの大川事務局員の報告をご参照ください)。

### 2) 2005 年度予算審議

会計担当大川事務局員より2005年度予算が提示され、承認されました(本号別ページの大川事務局員の報告をご参照ください)。

### 3) 事務局員の退任、補充、職務担当について

事務局の大川、進藤両事務局員が2005年3月末日をもって退任することが承認されました。岡田大士、田中正弘、福留東士(五十音順)の各氏があらたに事務局員となることが、懇親会場の臨時総会で確認されました。

### 4) その他

セミナー担当福石事務局員より2005年度研究セミナー会場については未定のため、企画・場所の提供等の申し出をお待ちしているとのことでした。

紀要担当吉村事務局員より全国のブロック大学に『大学史研究』を継続的に寄贈したいとのことで、これまで、バックナンバーを北海道大学、東北大学、東京大学、国立国会図書館、文部科学省図書館、名古屋大学、九州大学に寄贈した実績が報告され、これらへの継続寄贈について、了承されました。なお、関西地区が抜けているのでどこかを今後選ぶことも検討されました。

紀要編集委員会に関しては、編集委員長別府昭郎会員が『大学史研究』次号(21号)の編集及び発行、発送終了後、交代する予定であり、編集委員会にて、後任者を選出する予定とのことでした。

## 大学史研究会 2004 年度会計報告

大学史研究会 2004 年度会計について、その概略を報告いたします。

### ※ 2004 年度の収支報告

(収入)

2003 年度会計からの繰越金は 2,379,404 円でした。

2004 年度年会費は 106 名の会員より納入があり (全会員の約 70%)、年会費・入金金の収入額は 656,960 円でした。ただし、これは 2003 年度納入額に比べ約 2 万円の減少です。年会費の納入は、年々滞り気味になっています。本研究会収入の大半は年会費によっております。研究会の発展と円滑な運営のために、年会費納入にご理解ご協力、お願い申し上げます。なお、年会費額は一般会員会費 5,000 円、院生等会員 3,000 円ですが、会計報告においては、その納入総額が「端数」となっています。これは、「郵便振替払込」で年会費納入をしていただいた場合は「払込料金加入者負担」としており、納入年会費が大学史研究会口座に振り込まれる際、会員各位の入金額から払込料金経費が差し引かれることによります。

「大学史研究」(紀要)の販売については、編集委員会のご尽力によって 185,910 円を計上しました。これは、2003 年度販売額 (124,030 円) に比べて約 6 万円の売り上げ増です。

2004 年度の総収入額は 3,222,396 円、前年度繰越金を除いた実収入額は 842,992 円でした。

(支出)

「大学史研究 20 号」発行経費として 346,091 円を支出しました。発行経費とは、業者による原稿の校正・レイアウト経費、印刷・製本費、発送費などの総額です。

印刷費については 9,704 円の支出です。これは「大学史研究通信 (ニュース・レター)」発行の印刷、会員への諸連絡印刷物、年会費請求依頼通知等の経費です。

通信・郵送費の支出 74,660 円は、「大学史研究通信」の発送、年会費納入依頼通知の発送、セミナーの出欠調査ハガキ、その他宅配便等の経費です。

その他消耗品・諸雑費として 7,678 円、交通費 700 円、さらに謝金として 35,000 円を支出しました。「大学史研究通信」の発送など、一度に大量の事務作業がある時はアルバイトを依頼し、謝金を支払っています。また、大学史研究会のホームページの一部リニューアルを開始し、その作業経費として 12,000 円を支出しました。

次年度繰越は 2,692,466 円、来年度繰越金を除く総支出は 529,930 円でした。

## ※ 指定金銭信託の解約について

これまで大学史研究会・会計においては、「指定金銭信託（中央三井信託銀行：ヒット）」を約定しておりました。しかしながら、ここ数年来、著しい低金利状況が続いているのみならず、今後の状況次第では、元本割れの危惧もでてまいりました。こうしたことをふまえ、2004年3月をもって「指定金銭信託」を解約しました。この信託払戻金は、全額を大学史研究会の郵便貯金口座に入金・統合しました。

なお、指定金銭信託につきましては、1994年11月に50万円預け入れ、1997年4月に50万円預け入れ、以後預け入れ・引き出しともになく、2004年3月の解約時に102万1,032円の払い戻しとなりました。この間の利息収入総額は、2万1,032円でした。

## ※ 会計監査の導入・実施について

昨年（2003年）の総会（於：関西学院大学）において、2004年度より、年度会計報告にあたり会計監査を経ることが議決されました。つきましては、本年度の会計について、坂本辰朗会員に監査を依頼し、精細な監査の上会計の適正処理をご承認いただきました。御多忙中のところ、監査業務をたまわりました坂本会員に心より御礼申し上げます。

## ※ 2005年度予算案について

大学史研究会では、次年度の予算案について、まず事務局が基本案を作成し、これを総会に提示し、そこでの審議を経て、最終決定をいたします。2005年度予算もこの手順にしたがって基本案が編成され、総会審議を経て予算案が決定しましたのでご報告いたします。

### 「収入案」

大学史研究会の運営経費は年会費納入に依存しております。2005年度においては、本年度より4,5000円増の70万円を収入予定額として設定しました。会員、各位のご理解ご協力をお願いする次第です。なお、2005年度会費の納入につきましては、4月以降に納入依頼通知・振込み票を発送いたします。

他の項目は本年並みの収入を想定し、総収入額3,222,396円、繰越金を除く総収入額を885,100円としました。

### 「支出案」

2005年度においては「大学史研究」を二回（21号、及び22号）発行する予定になっております。これにあたり、発行経費を各号30万円、計60万円を計上しました。

大学史研究会ホームページにつきましては、これにさらなる刷新を進め、その充実と有効活用を図る予定です。このための経費として5万円を計上しました。

編集委員会、及び事務局の会合費（交通旅費を含む）については、それぞれ5万円を計上しました。

その他諸経費は、ほぼ例年通りの額を計上しました。2005年度から次年度への繰越金は2,692,466円、繰越金をのぞく総支出予算案は、529,930円を予定しています。

上記2005年度予算案は、2004年11月27日（土）に、帝京大学にて開催された大学史研究会総会で審議・検討され、承認されました。なお、2005年度中に「大学史研究会の発展のため」、あるいは「会員サービスのため」に必要な経費支出の要請があった場合は、事務局でこれを検討し、妥当性をもってそれが適当と判断しうるならば、この支出も認められることが、総会にて確認されました。

これにあたり、予算の有効活用にむけて、今後とも会員各位からのご提案、ご教示を歓迎いたします。

以上の「2004年度会計報告」及び「2005年度予算案」につきまして、ご質問、ご提案等ございましたら、事務局までご連絡よろしくお願いいたします。

大学史研究会 総会 資料  
2004年11月27日  
帝京大学

大学史研究会 2004年度 会計報告  
(自2003年11月23日～至2004年11月26日)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	¥2,379,404	「大学史研究第20号」編集・印刷・発送費	¥346,081
年会費・入会金	¥656,960	印刷費	¥9,704
「大学史研究」売上金	¥105,910	通信・郵便費	¥74,680
利息	¥122	消耗品・雑経費（文具・搬込み手数料等）	¥7,678
		交通費	¥700
		第26回セミナー開催経費	¥44,087
		謝金（通信発送業務補助）	¥35,000
		ホームページ管理費	¥12,000
		次年度繰越金	¥2,692,466
計	¥3,222,396	計	¥3,222,396

前年度繰越金を除く総収入 金 842,992 円

次年度繰越金を除く総支出 金 529,930 円

上記収支差じりき 金 313,062 円

上記のとおり、報告いたします。（事務局 会計担当 大川一穂）

上記の会計報告について会計監査を実施した結果、取置きならびに預金通帳等はすべて妥当かつ正確に処理されていることを認めましたので報告いたします。

(会計監査) 坂本辰朗

大学史研究会 2005年度 予算案

(自2004年11月27日～至2005年 総会開催前日)

収入

支出

科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	¥2,692,466	「大学史研究第21号」編集・印刷・発送費	¥300,000
年会費・入会金	¥700,000	「大学史研究第22号」編集・印刷・発送費	¥300,000
「大学史研究」売上金	¥185,000	ホームページ管理費	¥50,000
利息	¥100	編集委員会会合費・旅費	¥50,000
		事務局会議経費・旅費	¥50,000
		印刷費	¥10,000
		通信費	¥75,000
		消耗品・諸雑費	¥20,000
		謝金(アルバイト代)	¥30,000
		次年度繰越金	¥2,692,566
計	¥3,577,566	計	¥3,577,566

前年度繰越金を除く総収入 金 885,100 円

次年度繰越金を除く総支出 金 885,000 円

事務局提出の上記予算案は、2004年11月27日に開催された大学史研究会総会において審議の上、承認可決。

(事務局会計担当 大川一毅)

## 2005年度年会費納入のお願い

本年度も、年会費納入お願いのご連絡を申し上げます。本研究通信に掲載されております会計報告のとおり、大学史研究会の実収入にあって、その約85%は会員各位からの年会費によっております。昨年度、全会員からの年会費納入率は約70%であり、未納会員も少なからぬ状況です。研究会の発展と円滑な運営のため、なにとぞ会員各位のご理解ご協力をお願い申し上げる次第です。本年度会費の納入の詳細につきましては、同封しております納入依頼通知をご覧ください。

年会費は5,000円です。大学院等在学、あるいは日本学術振興会会員の各位には「院生・学生会費（年会費 3,000円）」制度が適用されます。過年度分年会費未納の会員各位には、同封書類に、未納年度と本年度会費分を含めた金額総計をご連絡しております。年会費3ヶ年度分以上の滞納会員には、研究会継続参加のご意志を年会費納入によって確認できるまで、大学史研究会からの諸連絡や「研究通信」、紀要「大学史研究」等の発送を停止することになっております。該当会員へのご連絡通知には、これに関する事項が記載されておりますので、ご留意願います。

さて、1991年より事務局会計をつとめておりました大川は、本年3月をもって担当を退任させていただきます。長年にわたる会員各位のご協力に、この場をおかりして御礼申し上げます。なお4月より、杉谷祐美子事務局員が会計担当となり、年会費業務にもあたります。今後とも引き続き、よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

### 年会費納入払込先

郵便振替口座 大学史研究会 口座番号 00120-3-47583

または

銀行口座 大学史研究会 三井住友銀行 池袋東口支店（店番671）  
普通預金（口座番号3456109）

（事務局会計担当 大川一毅）

## 事務局からのお知らせ

### 事務局員の交替

局員の交代について、2004年度総会ならびに臨時総会で以下の通り了承されました。

退任： 大川一毅 局員、進藤修一 局員

新任： 岡田大士 局員、田中正弘 局員、福留東土 局員

交替にともない、事務局所在地を吉村日出東局員の研究室内に変更、会計業務担当を杉谷祐美子に変更、新たに事務局代表メールに関する業務を岡田大士局員が担当することになりました。通信編集担当については、担当者を現在検討中です。



## 事務局所在地の変更

2005 年度より、事務局所在地を下記のように変更しました。御連絡の際にはご注意ください。

新事務局：

〒635 - 8530 奈良県大和高田市東中 127

奈良文化女子短期大学 吉村日出東研究室内

TEL: 0745 - 52 - 1279 E-mail: yosimura@narabunka.ac.jp

※ 事務局へのお問い合わせは、なるべく下記までお願いいたします。

事務局代表連絡先 E-mail: jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp

なお、編集委員会の連絡先につきましてはこれまでと同様です。

編集委員会：

〒101 - 8301 東京都千代田区神田駿河台 1 - 1

明治大学 研究棟 527 別府昭郎 気付

大学史編集委員会 別府昭郎・吉村日出東

TEL/FAX: 03 - 3296 - 2027 E-mail: abeppu@isc.meiji.ac.jp

## 退会者の報告

以下の会員の方が退会されました。長い間本会の活動にご協力賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

退会者： 松下佐知子 会員

### 原稿募集

『大学史研究通信』第 43 号は 2005 年 6 月 30 日に発行予定です。会員諸氏の現在の研究紹介、文献案内、会員主催の行事のお知らせなど、どのようなものでも結構です。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。原稿提出・お問い合わせ等は事務局（代表 E メールアドレス：jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）もしくは本紙編集担当の杉谷までお願いいたします。

### 住所・所属変更届のお願い

住所や所属（昇任・学位取得も含む）に変更のある会員は事務局までご一報くださるようお願いいたします。教授・研究のために海外にご滞在予定の方も、海外での連絡先をお教えいただけましたら幸いです。ご連絡は最終ページにございます、事務局代表 E メールアドレス（jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）または吉村研究室宛にお願いいたします。なお、変更届にあたっては、年会費払込票（郵便口座）の「通信欄」を利用することも可能です。

『大学史研究通信』バックナンバー希望者に頒布いたします

『大学史研究通信』第14号～現在発行号まで希望者に頒布いたします。80円×部数+郵送料(1部の場合90円、2部以上は120円)分の切手を同封の上、本紙編集担当の杉谷宛までご請求ください。連絡先は下記をご覧ください。

編集後記

新年度を迎え、本研究会の事務局も一新いたしました。大川、進藤両会員には本当に長い間、事務局を率いてくださいましたことにこの場を借りまして、厚く御礼申し上げます。これからは新任局員の方々が若い息吹を吹き込んでくださることに期待しつつ、新旧局員が協力しあって、新たな体制を積極的に築いていければと思っております。

これもちまして、杉谷が編集する通信は最後となりました。発行が滞って、会員の皆様にはいろいろとご迷惑をお掛けしましたこととお詫びいたしますとともに、今後は会計担当として、何卒よろしく願い申し上げます。

(杉谷祐美子記)

『大学史研究通信』第42号の編集は事務局・杉谷祐美子が担当いたしました。

連絡先 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 青山学院大学文学部  
TEL: 03-3409-6088 FAX: 03-3409-1528  
E-mail: sugitani@cl.aoyama.ac.jp

『大学史研究通信』第43号は、2005年6月30日発行予定です。

大学史研究会事務局

〒635-8530 奈良県大和高田市東中127  
奈良文化女子短期大学 吉村日出東研究室内 大学史研究会  
TEL: 0745-52-1279 E-mail: yosimura@narabunka.ac.jp  
URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jshshe/>

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表Eメールアドレスまでお願いいたします。  
E-mail: jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp

大学史研究会事務局員 (五十音順)

岡田 大士 (東京工業大学)	杉谷祐美子 (青山学院大学)
田中 正弘 (日本女子大学)	福石 賢一 (九州女子大学)
福留 東土 (一橋大学)	吉野 剛弘 (東京電機大学)
吉村 日出東 (明治大学)	